



北本市立宮内中学校 学校教育目標 自立貢献

宮内中だより

3月号 令和6年3月1日

＜自立貢献＞
学:学び続ける
恕:思いやる
錬:鍛える

別れと出会いの繰り返し

校長 野本 慶人

令和5年度もとうとう3月を迎えました。校門周辺の木々も春の準備を急いでいるようです。まだまだ寒い日もありますが、週が明ける度に暖かい春の到来が、感じられるようになりました。

冒頭で何気なく「とうとう」と使ってしまったのは、この季節特有の「別れ」を感じてしまうからでしょうか。本校の第42回卒業証書授与式は今月15日に、また、1、2年生の令和5年度修了式は26日に迎えます。これらの行事は、1年間過ごしたクラスの友人や先生、クラスや学校との「別れ」の日であります。「別れ」と聞くと寂しさの感情が先行しがちになるものですが、そればかりではないように思います。「この人と一緒にいられる時間も限りがあることなんだ。」と思った人はいませんか。是非、クラス解散の日まで、「いて当たり前」の人との関わりを思い返して、更にいいところを見つけてほしいと思います。また、「今の環境から離れたい。」と思う人もいるのではないのでしょうか。人は長く生活をしていると、多少のトラブルにも出くわします。もちろん解決出来たらいいのですが、引っ込みがつかなくなったり、そもいかないこともあります。「別れと出会い」は表裏一体で、別れの次には必ず新しい出会いがやってきます。人間関係や自分を見つめなおすチャンスとも捉えることができるのではないのでしょうか。

さて、あなたには帰るところがありますか。「家に帰る。」と思えた人はそれだけで幸せなのではないでしょうか。帰る場所とは、なんとなくほっとできて、自分が自分でいられる場所のような意味があるのだと思います。大学進学や地方就職等で、親元を離れると「地元」という帰る場所ができます。私も経験ありますが、実家に帰った時に何とも言えない落ち着きを感じたことがあります。小中学校時代の旧友に偶然会ったりすると、一瞬で当時の気持ちに戻ったりできます。これらは、「家族愛」とか「地元愛」という言葉に置き換えられます。卒業生が半年して、一年して「母校へ帰る」場面に出会うことがあります。近況報告をしている卒業生の姿からは、頼もしく成長したことを感じます。時折、「高校をやめてしまった。」という報告を受けることもあります。何かがあって、そのような選択をしたのかもしれませんが、その時こそ、悩んでいる段階で「母校」を思い出してほしいと思います。「やめようと思う」段階で相談相手の一人として宮内中の先生方を選択肢に入れてほしいと思います。AIの技術革新が進む中、「愛」については、学習することは難しいことであると言われております。「別れと出会い」を繰り返し、皆さんのそれぞれの場面で「愛」を見出すことが、その後の生活を豊かにすることではないかと思えます。

特に3年生は、宮内中学校を巣立ち新しい環境に身を置き、新しい関係を築くことになります。君たちには「宮内中」という母校、そして「北本」という地元があることをいつまでも忘れずに、力強く自信をもって卒業してほしいと思います。

今年度も生徒は笑顔いっぱい、精一杯の生活を送ることができました。それは、保護者の皆さま、地域の方々が一体となって子どもたちを育ててくださっているからです。この素晴らしい地域から3年生を見送り、1、2年生もそれぞれ進級します。どうか独り立ちできるまで、これからも、今まで同様に見守っていただきますようお願いいたします。

本年度の教育活動へのご理解とご協力に感謝申し上げます。ありがとうございました。

＜上野・浅草へ行ってきました＞

2年生が1月26日(金)、校外学習に行ってきました。朝7:00前に北本駅に集合し、班ごとに電車に乗り浅草まで行き、寄席を全員で観覧しました。その後、浅草・上野近辺で班別行動を行いました。良い思い出になるとともに、来年の京都・奈良への修学旅行に向け、良い経験になりました。



3月の主な行事予定	
1日(金)	県公立入学許可候補者発表 学年朝礼(2年)
2日(土)	PTA 常任委員会
4日(月)	県公立入試・追検査
5日(火)	生徒集会、1年保護者会
6日(水)	県公立追検査入学許可候補者発表
7日(木)	2年保護者会、学年朝礼(1年)
11日(月)	各種委員会
12日(火)	生徒集会
13日(水)	卒業式予行
14日(木)	卒業式準備
15日(金)	第42回卒業証書授与式
18日(月)	球技大会(1年)
19日(火)	給食最終日、球技大会(2年)
20日(水)	春分の日
21日(木)	学校運営協議会
23日(土)	PTA 新旧執行部会
25日(月)	小中連絡会
26日(火)	修了式



＜中学校体験を行いました＞

2月21日(水)、中丸小、北小、中丸東小の6年生児童を迎え、本校生徒が全力校歌を披露したり、部活動体験で6年生と活動したりしました。この体験から、6年生は、中学校生活へのあこがれを、本校生徒は、後輩が入学してくる期待を膨らませたようです。4月に新入生が元気に入学してくるのが楽しみです。



＜地域の方への御連絡＞

「宮内中だより」を毎月楽しみにご覧になっていた方には、大変申し訳ありませんが、令和6年4月より、「宮内中だより」の地域への回覧をやめさせていただくこととしました。

今後、「宮内中だより」をご覧になりたい方は、勤労福祉センター、北部公民館、ワコーレRGに掲示されているものをご覧になっていただくか、本校ホームページにアクセスしていただき、ご覧になってください。一方的な御連絡で大変申し訳ありませんが、御理解いただきますよう、よろしくお願いいたします。

宮内中学校ホームページはこちらから →

